

平成29年度燕市観光協会事業報告及び収支決算報告について

1. 観光イベント開催事業

17,821,041円

(1) つばめ桜まつり

(事業費 13,947,054円)

つばめ桜まつり期間(4/8～4/16)の一大イベント「分水おいらん道中」は、安全かつ円滑な運営をはかるため、撮影用おいらん役をやめて、従来の3名にて実施しました。当日風が強かったものの、地藏堂本町通り、大河津分水桜並木共に屋外にて開催することができました。桜まつり全体を通し、燕・吉田地区でのイベント、大河津分水桜並木、JR分水駅前、燕文化会館前中ノ口川堤防でのライトアップを実施し、高校生ボランティア、保育施設と連携してのPR媒体の作成、地域団体によるPR活動など、市民一体感の機運醸成に取り組んだ結果、延べ数90,000人の入込となり、県内外はじめ国外の観光客も例年以上に多く見受けられました。

◎つばめ桜まつり 4月 8日(土)～16日(日)の9日間

夜桜ライトアップは、4月23日(日)まで延長

(吉田ふれあい広場❀さくらフェス) 4月 8日(土)

(燕市交通公園&こどもの森❀さくらフェス) 4月 9日(日)

(第75回分水おいらん道中) 4月16日(日)

(2) 酒呑童子行列

(事業費 3,873,987円)

燕市の参加型イベント「酒呑童子行列」当日は天候に恵まれ、241名の行列参加者を含め会場周辺に9,000人の入込を数えました。行列参加においては、市外(県外含む)参加者が約3割になり、年齢層も幅広く、三世代で楽しめるイベントとして定着しつつあります。また、昨年度、舞台美術を手掛ける専門家に依頼し、作成した三鬼仮面にくわえ、さらなるビジュアル強化をねらい、六鬼の衣裳を新たに作成し、当日の鬼役のメイクも実施いただきました。また市内の高校生ボランティアスタッフからは企画段階から携わってもらい、行列中のコール、演出等様々なアイデアで盛り上げてもらいました。さらに市内高校と観光協会会員様と共にメニュー開発(鬼担々麺やおにごおり(鬼氷)、鬼餅)にも取り組みました。

なお、例年同様、全国の鬼関連自治体との交流を行うため、福知山市の酒呑童子まつりへ参加予定でしたが、福知山市の大雨による災害により中止となりました。

◎第13回酒呑童子行列 9月24日(日)

(1) つばめ「おもてなし力」アップ事業 (事業費：7,092,229円)

国内や海外からの企業視察や産業観光等でお越しいただく来訪者に、更なる魅力の情報を伝えるために、「観光ナビゲーター」による市の魅力や企業等のご案内を通して、来訪者の満足度向上と魅力発信に取り組んできました。

また、JRのトランススイート四季島の案内役もつとめ、多くのお客様よりご満足いただきました。

なお、近年は旅行会社からの問合せも多く、コースの提案や視察先の手配も当協会が取扱を行っています。

また、昨年から引き続き市内の観光ボランティアガイド団体等への活動支援を強化し、ホスピタリティの向上とガイドの育成を支援しました。

◎観光ナビゲーター稼働実績

- ・観光ナビゲーターによる対応数72回 計1,864名
(内、外国人の視察対応10回 計212名)

◎各種ボランティアガイド団体の活動支援

- ・国上山ボランティアガイドはちの子会による国上山周遊ガイド等
4月～11月 計3,224名(内、周遊ガイドは1,844名)
- ・里山花とみどりの会によるエコトレッキングツアー
年間6回開催 計129名の参加者
- ・ネットワークみどり緑による薬草観察と薬膳料理
年間2回開催 計41名の参加者

(2) つばめ情報発信戦略事業 (事業費：4,016,098円)

協会ホームページをリニューアルし、各ページの拡充、海外への情報発信を補足するため、多言語化すると共に、コンテンツを充実させ、スマートフォン対応も可能としました。

◎<https://tsubame-kankou.jp/>

観光パンフレット「つばめぐり」の英語版も作成しました。

3. 観光プロモーション事業

1,843,884 円

(1) 観光プロモーション事業

(事業費：1,843,884 円)

燕の魅力情報を発信して行くためのツールであるパンフレット等の作成・増刷や、各種パブリシティ等の活用他、公共施設等に告知展開を図り、知名度向上と誘客促進を図りました。

- ・新聞広告掲載などによる広報活動（毎日新聞、三條新聞、新潟日報など）計7回
- ・県内テレビ広告による広報活動 計2回
- ・体験パンフレット制作（増刷、新規作成）増刷7,000部、新規8,000部
- ・工場視察チラシ制作 新規5,000枚
- ・その他

（JR 燕三条駅パンフレットラック修繕・きららんシール等のノベルティ作成など）

4. 観光資源活用事業

633,680 円

(1) 産業観光体験開催事業

(事業費：285,980 円)

過去実施データをもとに、ニーズに対応すべく、連休期間や夏休み期間などをメインに、体験実施日は、いつでも予約なしに体験ができるような内容に講師の方々と連携し、新たな形式にて実施しました。

- ・小皿づくり体験 年間6回開催 参加者数 110人
- ・アクセサリ制作体験 年間7回開催 参加者数 29人
- ・「木の葉」づくり彫金体験 年間5回開催 参加者数 21人

(2) 他団体支援事業

(事業費：196,296 円)

①八王寺白藤保存育成事業

(事業費：100,864 円)

新潟県指定天然記念物である八王寺安了寺の白藤を見に多くの方が訪れる藤まつりが、継続実施できるよう大白藤の保存活動に取り組んでいる、八王寺大白藤保勝会の活動を支援しました。八王寺大白藤保勝会の HP ホームページでの開花状況の更新、駐車場のご案内を協会 HP 上でもご紹介し、情報発信にも努めました。

②萬燈紹介広告事業

(事業費：50,108円)

木場小路萬燈組と横町萬燈保存会等と連携を図り、地域の歴史ある伝統行事の広報ポスター制作に関わる支援を行うとともに行事開催の告知紹介を図りました。

③拓本体験教室開催

(事業費：45,324円)

分水拓本研究会の指導により、各イベントにあわせ名僧良寛さまの碑の拓本体験を開催しました。

- ・協会主催年間3回開催(分水おいらん道中、国上山山開き、酒吞童子行列にて)

計100名の参加者

(3) 国上山山開き事業

(事業費：78,904円)

良寛さまが晩年を過ごした「五合庵」や「乙子神社草庵」、また越後最古の名刹「国上寺」等、数多くの史跡が残る国上山は、近年誰でも気軽に登れることから人気を集めています。

この、国上山登山シーズンの幕開けとして、例年4月29日(祝)に登山者の無事を願い、安全祈願祭を行いました。さらに、かねてより人気の高い早春の山野草が咲き誇る時期にあわせるため、関係者と協議を進め、平成30年3月25日にも山開きを開催しました。

(4) まちあるき事業

(事業費：72,500円)

地域の方々の協力により、これまで開催してきた「燕三条まちあるき」のコースを増設しました。

- ・春3コース、夏1コース、秋4コース、計8コース開催 計100名参加

燕市観光協会運営費

17,909,795円

(1) 運営体制

従来の協会職員3名に加え、燕市からの派遣職員3名、臨時職員の観光ナビゲーター2名の合計8名体制にて、業務体制の強化に努めてきました。

運営費の面では、これまでの経費に加え、法人税・消費税の納税、神輿の燕三条駅・中央公民館内への移設に伴う案内板に係る消耗品什器備品費・賃借料などが発生しておりますが、印刷単価や発送単価などの見直しを図るなど、各種経費削減に尽力いたしました。